

令和5年度 事業報告書

令和5年度は、3年に渡り続いたコロナ禍がウイルスの分類が5類に引き下げられた事により季節性インフルエンザ並みの取扱いになりました。これにより様々な規制が緩和され、人の流れが戻ってきました。それまで停滞していた経済も動き出し、33年ぶりに株価は高値を更新しました。その一方でガソリン価格は高騰を続け、物価が上がり続けるなかで一般消費者にはまだまだ景気回復とは言えない状況でした。また、10月から消費税のインボイス制度が施行され、新たに暫定税率での課税が始まり、配分金に対して2%の消費税をセンターが負担する事となりました。今後は一層、経費削減に努め安定的な財政運営に取り組まなければなりません。

このような社会環境の中で令和5年度も築上町において、高齢者の福祉の増進を目的に事業計画に沿って「地域社会に愛され信頼され喜ばれるセンター」を目指し事業を推進して参りました。

センターの運営に関しては、昨年度も法を順守した事業運営はもとより、健全で安定した運営基盤の構築を最優先の課題として、事業運営に努めてまいりました。また、県や町の補助金については、5年度はシルバー事業へのご理解とこれまでと変わらぬご配慮により前年度を上回る金額を頂くことが出来ました。

事業の実施にあたっては、会員の安全を第一に掲げ、会員拡大や就業開拓提供事業の拡大に取り組んで参りましたが5年度は、3月末時点で会員数は175名と前年同月比で3名減となりました。また、シルバー事業の周知のため地域住民と一体化した社会参加活動は、昨年は、コロナ明けの様相の中、シルバーの日の清掃ボランティア、ちくじょう祭りでの物品販売、行橋別府100kmウォーク給水ボランティア等に参加しました。またセンター広報誌「シルバー築上」第18号を発刊し、普及啓発事業を行いました。

これらの活動の結果、5年度の事業実績は、受注件数は1,347件と前年に比べ57件減りました。契約金額は約7,795万円となり、前年度対比で1.2%、金額で93万円減となり前年をやや下回りました。

また、福岡県連合会が実施している労働者派遣事業については、受注件数は、築上町実施事務所として、計8件の契約となっており、昨年を2件下回りました。今後も就業拡大を進めて行く必要があります。

安全対策については、年間12回の安全パトロールを実施して会員に注意喚起を行いました。その結果、5年度は賠償事故が5件（草刈作業中の飛び石2件）、傷害事故が3件、合計8件発生しており、前年に比べ2件減少することが出来ました。引き続き事故「0」を目標に会員へさらなる注意を呼びかけました。また、実施6年目を迎えた日常の買物に不自由している高齢者を対象に行っている「わくわく生活向上サロン」は22名の方が登録され延べ357人に

利用して頂き地域住民の手助けを行なうことができました。

以下、令和5年度の事業実施内容を報告します。

(実施報告)

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

就業開拓提供等事業

(1) 受託事業（一般）

高齢者の就業としてふさわしい地域に密着した仕事を、家庭や民間事業所、及び官公庁等からセンターが有償で引き受け、これを会員に対して、その能力、希望等に応じて請負・委任という形式により提供しました。

また、請負・委任になじまない場合は、一般労働者派遣事業で対応しました。

就業の提供にあたっては、地域から発注された仕事の情報を可能な限り会員に周知し、その上での確に就業機会を提供する等、会員の希望、能力に応じて公平に就業機会の提供を行ないました。また、出来るだけ多くの会員が就業の機会を得られるようグループ就業やローテーション就業などを進め、仕事の分かち合いに配慮しました。

ア、就業開拓及び会員拡大のため、「一人一件の就業開拓、会員拡大運動」を年間にわたり展開しました。その結果、総受託件数1,347件、3月末会員数175名の内、新入会員は21名、会員紹介入会者数は9名となりました。

イ、就業機会を拡大するため、シルバー事業の基盤である就業開拓・会員拡大等について普及・広報委員会を年4回開催するとともに、町の広報誌等に広告を掲載して新規の発注者の掘り起しを行ないました。その結果105件の新規発注者が開拓できました。

ウ、町内の介助を必要とする高齢者宅への支援サービスを拡充するため、子育て支援・福祉・家事援助サービス班の活性化とともにワンコインで手軽に利用できる「手助け安心サービス」を実施しました。

また町と連携して実施している介護予防・生活支援総合事業については8名、延べ317件の受注を得ました。また買物支援「わくわく生活向上サロン」については、22名の方が登録し延べ357人に利用して頂きました。

「令和5年度実績報告」

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
152名	12,116名	86.9%	70,918千円

「主な就業分野」

- ・町と連携した介護予防・生活支援総合事業に係る日常生活支援サービ

- ス及び軽度生活支援等の福祉・家事援助サービス
- ・公共施設の除草・清掃等の一般作業
- ・個人宅の植木剪定、害虫消毒、除草、清掃及び家事援助サービス
- ・公民館、福祉センター等の受付管理事務
- ・日常生活に支障のある方等を対象にしたワンコインサービス
- ・日常の買物に困っている町民を対象にした「わくわく生活向上サロン」の実施。

(2) 独自事業

高齢者の知識・経験・能力を生かし、独自の創意と工夫により、地域社会へ多種多様なサービスを提供するため、次の事業を実施しました。

「実施事業」

- ・町内の新聞紙・雑誌・ダンボール等を収集し、再生業者に販売する資源のリサイクル事業。
- ・剪定木、刈草等をチップ化し、有機肥料として一般家庭に配付する資源のリサイクル事業。
- ・冬期にプレハブハウスで石焼き芋の販売を行う焼き芋事業。
- ・シルバー農園については夏場の猛暑で苗が枯れた為に定植が出来ませんでした。

「令和5年度実績報告」

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
58名	1,004名	100%	7,032千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

雇用就業を希望する者には、企業等へ職業紹介を行なう予定でしたが、求人、求職の依頼はありませんでした。

2 労働者派遣事業

地域社会における就業ニーズと高齢者が求める就業形態の多様化にこたえるため臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において労働者派遣事業を推進し高齢者の就業機会を拡充・提供しました。

「令和5年度実績報告」

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
27名	1,738名	15.4%	11,509千円

主な就業分野

ア、町の資源再利用施設でのカン、ビン類の選別作業

イ、小学校の送迎バス通学児童の補助業務

ウ、福祉施設の調理補助業務

エ、工場内の軽作業

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

本事業への信頼と理解が得られるよう、町民、事業所に対し本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知するとともに、会員自身の本事業に対する意識啓発を行ないました。

(1) 広報活動

ア、センター事業の普及啓発のため、ホームページをリニューアルするとともにセンター広報誌「シルバー築上」の第18号を発刊して、一般に広報活動を行ないました。

イ、町の広報誌や一般新聞にシルバー人材センターの広告や講習会募集等、合計10回掲載して広報活動を行ないました。

(2) 社会参加活動

ア、シルバー人材センター普及啓発促進月間における取組みの一つとして、10月27日に役職員及び会員総勢43名で町の観光名所の一つである「綱敷天満宮」の境内において清掃等の美化活動を実施しました。

イ、地域社会の「安全・安心まちづくり」を推進するため、町と豊前警察署と連携して、「青色防犯パトロール」を年間にわたり実施しました。その結果、豊築防犯協会並びに豊前警察署から表彰を受けました。

2 安全・適正就業推進事業

安全は、シルバー会員が就業等の活動を通じて社会参加をする上で最も重要な課題であり、「安全はすべてに優先する。」の理念のもと、会員が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を行ないました。

また、シルバーの就業は「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業」が基本で、今までの就業形態を見直し、より慎重に関係法令を遵守して適正な事業運営を心掛けました。

(1) 安全就業対策

ア、安全・健康対策実施計画の重点実施項目及び遵守事項を作業打ち合せの場で周知徹底し、安全意識の高揚を図りました。

- イ、安全・適正就業基準、作業別安全就業基準等を見直し、安全・適正就業対策の強化を徹底しました。
- ウ、安全・適正就業委員及び推進員、一般会員により就業現場の安全パトロールを年間12回実施しました。
- エ、事故防止対策強化のため、屋外作業のヘルメット着用の厳守等、安全防具の着用、安全用具の設置を徹底しました。
- オ、会員の安全を第一に考え、危険、有害な作業と判断されるものは、下見の段階で発注者の理解を求め、受注しないよう特に留意しました。
- カ、安全就業を促進するため、7月27日に安全就業促進大会（会員44名参加）を築上町コミュニティーセンター・ソピアで開催し、安全意識の高揚と防止策の徹底を図りました。
- キ、事故状況や防止策等を全会員に周知・徹底するため安全だよりを年5回発行しました。

(2) 適正就業対策

- ア、長期の継続就業に関しては就業会員の固定化等を解消し、適正で公平な就業機会の提供のため、ローテーション就業によるワークシェアリングに努めました。
- イ、混在作業や指揮・命令等が発生すると思われる雇用まがいの就業を禁止するため、定期的に就業現場の視察等を行い、発注者にシルバー事業の就業形態について説明して適正化の理解を求めました。

3 相談事業

就業及びその他の社会参加活動を希望する高齢者のために、随時、次のような就業相談に応じました。

- ア、地域の高齢者の来訪や電話等による就業相談には、センター事業の趣旨・目的等を説明してセンターへの入会を勧めました。
また、雇用就業を希望する者には、企業等へ職業紹介を行なう予定でしたが、求人、求職の依頼はありませんでした。
- イ、センターの入会を希望する高齢者には、毎月1回第3金曜日を基本に随時、日程等調整して入会説明会を開催しました。

4 研修・講習事業

次の様な講習会を、会員や仕事を求めている地域の高齢者を対象に、ホームページや町内無線放送等で開催日時、場所等を周知・公開し実施しました。

- ア、交通事故防止の意識高揚のため、豊前警察署の協力を得て7月27日に築上町コミュニティーセンター・ソピアで交通安全講習会を開催しました。内容は「高齢者の交通安全について」豊前警察署交通課交通

指導係長帆足東介様に講演をお願いしました。(会員44名参加)

- イ、夏場の作業を行うにあたって、「熱中症対策について」の演題で豊前消防署西部分署松本祐二様に講演をお願いしました。(会員44名参加)
- ウ、高齢者の車による運転技術の向上と事故防止の為に、10月10日にアイルモータースクール豊前での「シルバードライビングスクール」に参加しました。(会員9名参加)
- エ、刈払い機の正しい使用方法とメンテナンスを習得するために築上町清掃センターにて12月18日に(株)丸山製作所の講師により機械操作講習会を開催しました。(会員15名参加)
- オ、連合会主催による刈払い機講習会を11月11・12日に豊前・上毛シルバー人材センターと合同で天地山公園で開催しました。(一般4名、会員5名参加)
- カ、県内でのチェンソーによる事故報告を受け、1月11～13日リサイクルプラザにて労働安全衛生法に基づく特別講習を実施しました。(一般5名、会員7名参加)
- キ、樹木の剪定についての基礎知識の習得のために、久保造園の久保善道様を講師に築上町清掃センターにて2月28日に「剪定講習会」を開催しました。(一般5名、会員14名参加)
- ク、11月20日に築上町コミュニティーセンター・ソピアにて一般女性及びシルバー女性会員を対象に小竹・宮若シルバー人材センターの赤松様を講師に招きインテリア苔玉講習会を開催しました。(一般13名、会員6名参加)
- ケ、6月21日及び2月16日に築上町コミュニティーセンター・ソピアで女性委員会が介護予防講座を開催し、役場の健康推進係の方を講師に迎え、健康体操を行いました。(総勢29名参加)
- コ、8月30日、3月5日、6日の3回にわたってリサイクルプラザにてスマホ教室を開催しました。
- サ、1月24日 コミュニティーセンター・ソピアにて健康管理講座を計画するも雪による悪天候の為、中止しました。